

単元名 思い出して 書こう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
 (2) 経験したことから書くことを見付け、伝えたいことを明確にすることができる。
 (3) 経験から伝えたいことを明確にし、日記を書こうとする。

標準的な展開例

02010105_001

【教材名】きょうの できごと (上 P. 32～P. 33)

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 日記の書き方を捉える。 ★日記の書き方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日記を書いた経験を発表する。 ○ どのようなことを書けばよいか話し合う。 ○ 日記の書き方を捉える。 ○ 上手に書かれているところや、様子がよく分かるところを見付け、発表し合う。 <p>2～3 日記の材料を探し、日記を書く。 ★材料を見付けて、日記を書こう。 ○ 日常生活の中から日記の材料を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日記に書く題材を決定し、時間の順序に沿って日記を書く。 <p>4 友達と読み合い、振り返りをする。 ★友達と日記を読み合おう。 ○ 日記を友達と読み合い、よいところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を振り返り、日記を書くときに気を付けることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。 ・ 生活作文や長期休暇の絵日記などを振り返らせる。 ・ 身の回りでの出来事をそのときの自分の気持ちを添えて書いていることに気付かせる。 ・ 教科書(P. 32～33)の日記例から日記の書き方を捉えられるようにする。 ・ 教科書(P. 32)「たいせつ」にある内容が書かれているところに線を引かせる。 ・ 内容にまとまりがあることに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日記の材料になりそうな出来事を知多の友(P. 5)に書く。 ・ したことや見たこと、思ったことなど、いくつか書かせる。 <p>【評】日記の材料探しを通して、経験したことから書くことを見付け、伝えたいことを明確にする「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知多の友(P. 7)を活用する。 ・ 教科書(P. 153～154)「ことばのたからばこ」も参考にして日記を書かせる。 ・ 出来事が起こった時間の順序に沿って書くように声を掛ける。 <p>【評】日記を書く活動を通して、言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付く「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】日記を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知多の友(P. 9)を活用する。 ・ 様子がよく分かるところや自分の思いが上手に書けているところを見付けるように、読む観点を確認する。 ・ 家の人に読んでもらい、感想をもらうのもよい。 ・ 知多の友(P. 9)に丸を付けさせる。 ・ 教科書(P. 32)「たいせつ」にある内容がしっかりと書けたかを確認し、身に付けた力を押さえる。 ・ 日記を継続してクラスに掲示していくのもよい。

【 備 考 】